CentreCOM[™] LA-PCM



WindowsNT Version 4.0 NetWare Version 4.11J MS-DOS 7777

CentreCOM LA-PCM シリーズイーサネットアダプターをご購入いただき、誠にありがとう ございます。この文書は、「LA-PCM シリーズ ユーザーズマニュアル」「リリースノート <CentreCOM LA-PCM シリーズ>」の内容を補足するもので、以下の内容が記載されていま す。

1. Win	ows NT Ver. 4.0	2
2. MS-)OS のドライバーをインストールする前に18	3
3. Net	/are 4.11J クライアント (MS-DOS)18	3
4. 本文	書に関するご注意	3

本文書は以下の仮定のもとに記述されています。

- [1] AT **互換機の場合**はフロッピーディスクドライブをA:、インストー ル先ドライブをC:、CD-ROM ドライブをE:と仮定します。
- [2] PC-98 シリーズの場合はフロッピーディスクドライブをB:、イン ストール先ドライブをA:、CD-ROMドライブをD:と仮定します。
- [3] Windows NT Ver.4.0 はご使用のコンピュータに既にインストー ルされているものとします。



PN J613-M0120-00 Rev.B 970319 FN WinNT40.NW411J.LAPCM.v101 Ver.1.0 pl 1

1. Windows NT Ver. 4.0

Windows NT Ver. 4.0 に NDIS ドライバーをインストールする手順を説明します。ドライバーは、「LA-PCM ドライバーディスク」の「¥WINDOWS.NT¥40」に置かれています。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されて います)に挙げられていないパソコン機種で本ドライバーをご使用になる場合は、 お客様の責任においてご使用ください。それらのパソコン機種で本ドライバーをご 使用になる場合は、ユーザーサポートの対象になりません。



<u>ここに挙げた例は一例であり、お客様の使用するパソコンやネットワーク環境に</u> よって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



Windows NTのインストールを行ったあとで本アダプターをパソコンに取り付けて からドライバーのインストールを行うことをおすすめします。Windows NT は Plug&Playをサポートしていないため、Windows NTとドライバーのインストール を同時に行うと、Windows NTのインストール中に本アダプターが使用するリソー ス(I/Oベースアドレス・インタラプト(=IRQ))が他の拡張アダプターと重複する おそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。

(注) 本書では、Windows NT Workstation を用いて説明を行います。

1.1 インストールの手順(概要)

本アダプターを使用するための手順は以下の通りです。

1 本アダプターをコンピュータに設置します。

設置の手順は「ユーザーズマニュアル」第1部「2. イーサネットアダプタの取り付け」を ご覧ください。なお、コンピュータの電源はこの時点では入れないで下さい。

2 本アダプターをイーサネットに接続します。

接続の手順は「ユーザーズマニュアル」第1部「3. イーサネットに接続する」をご覧くだ さい。

3 本アダプターが使用できるハードウェアリソース(I/Oベースアドレス・インタ ラプト(IRQ))の値を確認します。

Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、I/Oベースアドレス・インタラ プトの値をユーザーが設定しなければなりません。工場出荷時の値(下表参照)が他の拡 張アダプターと重複している場合は別の値に設定し直す必要があります。<u>ドライバーをイ</u> ンストールする前に値が重複していないかを確認し、重複している場合は空いている値を 調べて下さい。

設定可能な値の範囲は「ユーザーズマニュアル」付録A「A.5 CentreCOM LA-PCM仕様」 をご覧ください。なお、設定はドライバーのインストール時に表示される設定ダイアログ で行います。

	1/0 ベースアドレス	インタラプト(IRQ)
AT 互換機	300	5
PC-98	d0	5

値を確認する手順は、本書「1.2 リソースの確認」をご覧ください。 値を再設定する手順は、本書「1.3 NDISドライバーのインストール」をご覧ください。

4 ドライバーのインストールを行います。

(1/〇ベースアドレス・インタラプトの値を必要に応じて設定します。)

本書「1.3 NDIS ドライバーのインストール」にしたがって、インストールを行ってください。

手順3での確認の結果、I/Oベースアドレス・インタラプトの変更が必要な場合は値を設定し直します。

1.2 **リソースの確認**

本アダプターが使用するリソース(I/Oベースアドレス・インタラプト(= IRQ))の値を以下の 手順にしたがって確認します。

(1)「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。



(2)「リソース」タブを選択します。最初に「IRQ(I)」の画面が表示されますので現在の設定(工場出荷時は10に設定されています)が既に使用されていないか調べます。値が重複している場合は他の値に設定する必要があるので空いている値を調べておきます。詳細は前ページ手順3をご覧ください。



(3) 次に、「I/Oポート(T)」ボタンをクリックしてI/Oベースアドレスの画面を表示します。同 様にして値が重複しないか確認の上、必要なら空いている値を調べておきます。詳細は前 ページ手順3をご覧ください。

		HAL \$2-	- スを含める(出)
71-12.2	20142	1/2	6月 -
0304 - 0304	FaNeo	0	6A
0305 - 0305	FaNec	a	15A
06A0 - 06AF	NEC_NSave	0	PCI
0640 - 064F	atapi	a	- ISA
08A0 - 08AF	NDC_NSave	a	PCI
0F40 - 0F47	Snd4231	0	6A
40.4.0 - 40.4.P	NBO_NSave	a	POI
\$1,40 - \$1AF	NBC_NSeve	0	PC1
42A0 - 42AF	NBC_NSave	a	PCI
43A0 - 43AF	NEC_MSave	a	PCI
66A0 - 66AF	NBC_NSeve	a	PCI
45A0 - 45AF	NDC_NSave	a	PCI
80A0 - 46AF	NBC_MSeve	0	PCI
47AU - 47AF	NEU ICANA	a	PLI
0000 - 669 F	and votes	0	101
1109-100	nport	a	
	1 Proventier and the second se	1980.0	II. and the o

C

1.3 NDIS ドライバーのインストール

ここでは、「アダプター用ドライバーを含むネットワーク環境が全くインストールされていない」 ^{†1}場合の本アダプター用ドライバーのインストール手順について説明します。また、<u>ここでは</u> <u>Windows NT Setup が要求する問い合わせに対して、基本的にはデフォルトで答えると仮定し</u> ています。

「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックしてください。「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。



(2)「マイコンピュータ」ウィンドウの「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックして ください。「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。



図2

†1 「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない (D)」を 選択したとき、このダイアログが表示されます。 (3)「コントロールパネル」ウィンドウの「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。図3のダイアログが表示されます⁺¹。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」をクリックしてください。



図3

(4) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続(W):」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」をクリックしてください。



図4

(5) 図5が表示されたら、「一覧から選択(S)…」をクリックしてください。

	LICENSING CONTRACTORY OF A CONTRACTORY OF A
	桃南國地江>
	2-19-7 757 WA
No.	
100	
	- 戴から灌根(3)_

図 5

(6) 本アダプター用のドライバーを選択します。

CD-ROM からインストールする場合

「ネットワークアダプタの選択」ダイアログで「Allied Telesis LAPCM Adapter」を選択 し、「OK」をクリックしてください。

ットワーク アダフラ	20 違択 ? 🗙			
H H H	∩ードウェアに適合するネットワーク アダフツをクリックして、[OK] をクリックしてください。 このコンボーネントのインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。			
ネットワーク	ネットワーク アダウブダ(<u>N</u>):			
PAdvar PAllied PAllied PAllied PAllied PAllied	teed Micro Devices AM2100/AM1500T Adapter Telesis LA100-PCI-T Adapter Telesis LAPOM Adapter Telesis LA-PCI Adapter Telesis RE2000 Adapter Telesis RE2000 Adapter Telesis AT1700 Ethernet Adapter Telesis AT1700 Ethernet Adapter			
	ディスク使用(止)			
	ОК ‡ #УФЛ			

🛛 6

ドライバーディスク†1からインストールする場合

図6()の「ディスク使用 (H)」ボタンをクリックし、ドライバーディスクをフロッピー ディスクドライブに挿入します。

図7のダイアログが表示されますので、ディレクトリとして「A:¥windows.nt¥40」を入 力し、「OK」をクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクのドライプ名をA: と仮定します。)

フロッピーディス	めの挿入	×
đ	ソフドウェアまた」はハードウェアの製造元から提供された、ソフドウェア ディスクを挿入してください。このディスクのファイルがほかの ドライブヤディレクドリなど」こある場合は、そのハスを以下に入 プリしてください。	OK Ŧŧvセル
	A:¥windows.nt¥40	

図7

†1 フロッピーディスクでの供給の場合、CD-ROMに含まれるドライバーよりも新しいものが 提供されていることがあります。最新のドライバーは、バグフィクスや機能の改良などが ほどこされています。最新のドライバーの入手方法は「リリースノート」の「最新ドライ バソフトウェアの入手方法」をご覧ください。 「Allied Telesis LA-PCM アダプタ」を選択し、「OK」をクリックしてください。

OEM オフジョンの選択 X
ハードウェア製造元のディスクでサポートされている ソフトウェア を選択してくださ い。
OK キャンセル ヘルフ*(H)
図 8

(7)「ネットワークセットアップウィザード」の「ネットワークアダプタ (A):」の「Allied Telesis LAPCM Adapter」(または「Allied Telesis LA-PCM アダプタ」、以下同様)にチェック マークを付け、「次へ (N):」をクリックしてください。

	[検索開始] モリックするとネットワーク アダフ多の 検索を開始します。
	被带開始(1)
	ネットリーク 79'7'%(A):
~	一覧から 選択(S)

🛛 9

 (8) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ(N):」をクリックしてく ださい。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム 管理者にご相談ください。ここでは、「TCP/IPプロトコル」のみをチェックすると仮定し ます。

1912-3 (517), 345-1,	キットリークで使用するキットリーク プロドスキを運動してください。不明な場合は、システム管理者に利用してください。
	キットリーク フロトコム(空): ※丁丁酸(A/IP 2019-2019-20 □ T NALI-IA IPA/SPX 互換(5)/2ボート □ T NALIBLI 201-34
	- 靴から選択(S) 〈 戻る(B) 次へ(9) / キャンセル

🛛 10

(9) 使用するサービスにチェックマークを付け、「次へ(N)>」をクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご相談ください。

6	スの一覧には、システムによってアストルされのサビスが示されてい ます。[一覧から選択]を対示かすると、この一覧に進加できます。
	ネットワーク ラービス(E): 同一 <u>第月500 年代(A</u>) 同一 <u>第月500 年代(A</u>)
	E = trentes 1/2/231× E = ty=2,5-2/2 E = ty=n'

🛛 11

(10) メッセージを確認して、「次へ (N)>」をクリックしてください。



図 12

(11) Windows NT のインストール元のディレクトリを指定してください。AT 互換機の場合は「*drv*:¥i386」、PC-98の場合は「*drv*:¥PC98」となります。(drv:はドライブ名です。画面(AT 互換機の場合)ではE:と仮定します。)

Windows NT	セットアップ*	×
đ	いくつかの Windows NT ファイルをコビーする必要がありま す。 セットアップは、次の場所でファイルを検索します。ほかの場所 を検索させたい場合は、新しい場所を入力し、[統行]を クリックしてください。	続行 キャンセル
	E¥i386	

🗷 13

(12) 続いて LA-PCM の設定画面が表示されます。

「IRQ」(インタラプト)と「IOBaseAddress」(I/Oベースアドレス)に適当な数値を入力 してください。詳細は本書 p.3の手順3をご覧ください。なお、「PCIC Base Address」や 「PCMCIA Slot」の項目はWindows NT Ver.4.0 により自動的に設定されるため、ユーザに よる設定は必要ありませんので、無視して下さい。(この項目はWindows NT Ver.3.51 で お使いの場合に必要となります。)

CentreCOM LA-PCM LAN Card	×
IRQ	5 🔽
IOBaseAddress :	300 🔹
MappedMemoryBase :	d0000 🔽
PCIC Base Address	3E0
PCMCIA Slot	Auto
O K Cance	HELP

図 14

(13) コピーが始まります。



🛛 15

(14)「DHCPを使用するか?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」を クリックすると仮定します。

SNP 24757 ネージークションについてき、サーバーがある場合は、植物というアリングを提供するようにておりませんができます。不可能は集合は、システム展現者に対象に合わせてください、ことのできた時、 まったか。 121.100 1.110.008

🗷 16

(15) (14)で「DHCPを使用しない」設定としたので、「TCP/IPのプロパティ」としてIPアドレスなどの値を設定しなければなりません。図17に入力例を示します。これらの値は、お客様の環境における値を入力してください。

Microsoft TCP/IPのプロバティ ? X				
IP 7 ^{k[*]νλ DNS WINS 7^{k[*]νλ h-\overline{r}γνδ}}				
DHCP サーバーから IP アドレスを取得し、このネットワーク アダフタカードに自動的に割り 当てることができます。ネットワークに DHCP サーバーがない 場合は、ネットワーク管理者にアドレスを聞い合わせて、そのアドレスを下の ポックスに入力してください。				
7ダワダ(P): [1] Allied-Telesis,K.K. LA-PCM 7ダワダ ▼ ○ DHCP サーハーから JP 7トルスを取得する(∩)				
□ □ IP アドレスを指定する(S)				
IP 7 ^k ³ νλ(μ): 150 .87 .28 .109				
サブ ネット マスク(U): 255 .255 .0				
デ ^ッ フォルト ケ ^ッ ートウェ1 (<u>G</u>):				
詳細(<u>D</u>)				

図 17

(16) DNS (Domain Name System)の設定をします。「DNS」のタブをクリックしてください。
 図 18 に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「view」を仮定しています。

Microsoft TOP/IP(0)7 B//Fr	? ×
IP 71-1/2 DNS WINS 71-1/2 #-74	27
F342 8-4 9274 (DNS)	
あスト 名41分:	1949AQD:
view	tw.ailied-telesis.co.jp
DNS サーヒ'スの検索順序(S)	
150.87.24.1 150.87.48.16	上へ0.01
	T-1004
	-
道加. 精果心	PF1R85222
「ドゾイン サフィックスの 検索順序(ビ)――	
twalled telesis co.jp alled telesis co.jp	上へ(e)1
	T-001
道加. 辐射(1)	MORQUO
OK	キャンセル 適用(A)



(17) 続いて、「WINS(Windows Internet Name Service)アドレス」の設定を行います。下の 画面では、「Windows 名前解決に DNSを使う(N)」を仮定しました。 必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックしてくだ さい。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。

Microsoft TOP/IP(0)/[J/5]
IP 75%2 DNS WINS 75%2 &-7429
- Windows インターネット ネーム サービス (WINS)
Alled-Telesis,KK, LA-POM 79'77
7'5(79 WINS #~n'-(W): 150 .87 .28 .109
世記2秒) WINS サーハー(S):
R Mindows 名前解決に DNS を使う(2)
☑ LMHOSTS 参照を行う(B) LMHOSTS を取り込む()
۲3–7° ID (Q):
CK 年+>也4 適用(a)

🙁 19

4	ここでは、ネットワークのハイントを原始にしたり、このスとうつかなットワーク 上で情報を見つける順序を変えることができます。
	ハイントの表示(3): ■ 高 NetBIOS +2月-フェイス ※ 高 サーハー ※ 高 リーハント ※ 高 リーンストーンシン
	有効(2) (素効(2) 上へ(2) (下へ(2)
	〈 戻る(2) 次へ(1g) > キャンセル

20

(19)「次へ (N)」をクリックしてください。



21

(20)「次へ (N)」をクリックしてください。図 22 では、「ワークグループ (W)」をそのまま使用すると仮定します。

247-3 to 17-07 9 to 1-12	ILビュージャックジネーアまたはドルンのどちらに参加させるかを選択 し、その名前を入力してください。どちらを選択すればよいか、ある いは入力する名前がわからない場合は、ネックーク管理部に相談し てください。 ILビュータ名(①): 図IE2 次の人/n ¹¹ ー ② ワークジルーフジ业): WORKGROUP
<i>\</i>	C ドメン(型): E エビュータ 73かんの 作成(型) (戻も(型) 次へ(型) > キャンちん

22 🕱

(21)「完了」をクリックしてください。



23

(22)「はい(Y)」をクリックし、パソコンを再起動してください。



24

1.4 本アダプターのドライバーを削除する

- (1)「マイコンピュータ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください。
- (2)「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied Telesis LA-PCM アダプタ」を選択し、「削除 (R)」 ボタンをクリックしてください。

追加(2)	4(#(B)	712171(P)	更新(ø
目の説明()	A-11044 7807		- 22	- ŝ

25

ネットワークアダプターを削除しても、そのアダプターにバインドしていたプロトコルや サービスは削除されません (一部の設定値、例えば TCP/IP における IP アドレスなどは削 除されます)。したがって、アダプターを再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、 サービスなどを使用できます。

2. MS-DOS のドライバーをインストールする前に

MS-DOS、Windows 3.1 環境では、本アダプターはソケットサービス / カードサービスと呼ば れるソフトウェアの管理下で動作します。本アダプターをご使用になる前に、それらのソフト ウェアをインストールしておいてください。(ソケットサービス / カードサービスはパソコンに 添付されています。)詳細は、ご使用になるパソコンのマニュアルや「ユーザーズマニュアル」の 「4.3 ドライバインストールの準備」(PC-98)または「8.3 ドライバインストールの準備」(AT 互換機)をお読みください。

3. NetWare 4.11J クライアント (MS-DOS)

NetWare 4.11Jの MS-DOS、Windows 3.1 クライアントのインストールにおける要点を説明 します。インストール手順の詳細は、NetWare 4.11Jのマニュアルをご覧ください。ドライパー ディスクは、「PC-98 シリーズ」用、「AT 互換機」用の2種類が同梱されています。インストール対 象のパソコン機種に合わせてご使用ください。

[注] インストールでは、「クライアントフロッピーディスク」を使用すると仮定します (CD-ROM から直接インストールすることもできます)。「クライアントフロッピーディスク」は、NetWareのCD-ROMの「INSTALL」コマンドで作成できます。

インストールの前に

1 本アダプターをコンピュータに設置します。

設置の手順は「ユーザーズマニュアル」第1部「2. イーサネットアダプタの取り付け」を ご覧ください。

2 本アダプターをイーサネットに接続します。

接続の手順は「ユーザーズマニュアル」第1部「3. イーサネットに接続する」をご覧くだ さい。

1/0 アドレス、インタラプトの変更

本アダプターが使用するリソース (I/Oベースアドレス・インタラプト (IRQ))の値は他の拡張アダプターと重複しないように手動で設定してください。

設定可能な値の範囲は「ユーザーズマニュアル」付録A「A.5 CentreCOM LA-PCM 仕様」またはreadme.odiの「NetWare 3.12Jのインストール」という節をご覧ください。

「Link Driver LAPCM」セクションの「PORT」、「INT」の後には、NetWare クライアン トのインストーラで選択した数値が記述されます。他の拡張アダプタを取り付けたな どの理由で、本アダプターが使用するI/Oアドレス、インタラプトを変更しなければ ならない場合は、これらの数値を変更してください。

PC-9821 Na7、Na3をご使用になる場合は、「リリースノート」p.10「PC-9821 Na7、 Na3 などにおけるご注意」もご覧ください。

ドライバーのインストール手順

 「NetWare Client for DOS and MS Windows Disk 1」をフロッピーディスクドライブに 入れ、下記のコマンドを実行してください。

PC-98 シリーズ

B:¥>INSTALL

AT 互換機

A:¥>INSTALL

- (2) 表示される質問に対して、メニューの番号を入力してください。質問項目は、以下の3点 です。
 - ・お使いのコンピュータの選択
 - ・インストールするクライアントの選択
 - ・時間に関する環境変数の設定
- (3) NetWareのインストーラが表示するメッセージにしたがい、表示されている項目1.、2.、
 3.、4.の問いを決定してください。

(4)「5. ネットワークボードのドライバーを選択してください」を実行すると、「ドライバー ディスクの挿入」を促す画面が表示されます。フロッピーディスクをLA-PCMドライバー ディスクに入れ替え、下記のディレクトリ名を入力してリターンキーを押してください。

PC-98 シリーズ

B:¥>NW411

AT 互換機

A:¥>NW411

- (5) 「CentreCOM LA-PCM」を選択し、リターンキーを押してください。
- (6) 「CentreCOM LA-PCM の設定」という画面が表示されます。以下の項目の設定が終了したら ESC キーを押し、この画面を終了してください。

Base I/O Port 本アダプタが使用するI/O アドレスを選択してください。

Hardware Interrupt

インタラプトレベルを選択してください。PC-9821 Na7、Na3をご使用になる場合は、「リ リースノート」p.10「PC-9821 Na7、Na3などにおけるご注意」もご覧ください。

Media Frame Type(S) ご使用になるフレームタイプを選択してください。

- (7) 以後、インストールプログラムが表示するメッセージに従って操作してください。
- (8) インストールが終了し、DOS プロンプトが表示されたら、リセットスイッチを押してパソコンを再起動してください。

インストール結果

インストールが終了すると、 NetWare クライアントの動作に必要なファイルやドライバー「LAPCM.COM」がコピーされ、NET.CFG、STARTNET.BAT が作成されます。NetWare のインストーラは、AUTOEXEC.BATに「@CALL *drv*:¥NWCLIENT ¥STARTNET」、PATHに「*drv*: ¥NWCLIENT」、時間に関する環境変数「SET TZ=JST-9」を追加します(*drv*:はインストール 先ドライブ名)。

NetWareクライアントのインストーラに対して、デフォルトの項目を選択したときのNET.CFG、 STARTNET.BAT を示します。

NET.CFG (PC-98)

```
Link Driver LAPCM

PORT 0d0

INT 5

FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester

FIRST NETWORK DRIVE = F

NETWARE PROTOCOL = NDS BIND

SHORT MACHINE TYPE = PC98

LONG MACHINE TYPE = NEC_PC
```

NET.CFG (AT 互換機)

```
Link Driver LAPCM

PORT 300

INT 5

FRAME Ethernet_802.2

NetWare DOS Requester

FIRST NETWORK DRIVE = F

NETWARE PROTOCOL = NDS BIND

SHORT MACHINE TYPE = DOSV
```

STARTNET.BAT

下記にPC-98シリーズにおける例を挙げます。AT互換機では、ドライブ名「A:」は「C:」となります。

SET NWLANGUAGE=nihongo A:¥NWCLIENT¥LSL.COM A:¥NWCLIENT¥LAPCM.COM A:¥NWCLIENT¥IPXODI.COM A:¥NWCLIENT¥VLM.EXE

NESL.COM CONT

Netware 4.11Jでは、PCカードの活線挿抜などのイベントに対し、ドライバがNESLにイベントの発生を通知します。これによってアプリケーションなどの上位プログラムは、NESLから情報を受け取り、これらのイベントを認識できます。

NESL.COM の常駐

NESL.COMは、NetWare 4.11Jクライアントのインストール時に「¥NWCLIENT」にコピーされる 約2Kの常駐プログラムです。NESLは、LSL.COMの後、ドライバを常駐させる前に実行してく ださい。NESLは、STARTNET. BATに記述してもかまいません。

LSL			
NESL			
LAPCM			
			,

4. 本文書に関するご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更すること がありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかね ますのでご了承ください。

(C) 1996-7 アライドテレシス株式会社

Microsoft、Windows、MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Novell、NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。

この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商 標です。

マニュアルバージョン

1996 年 12 月	Ver.1.0 pl 0	1st release
1997年03月	Ver.1.0 pl 1	記述変更